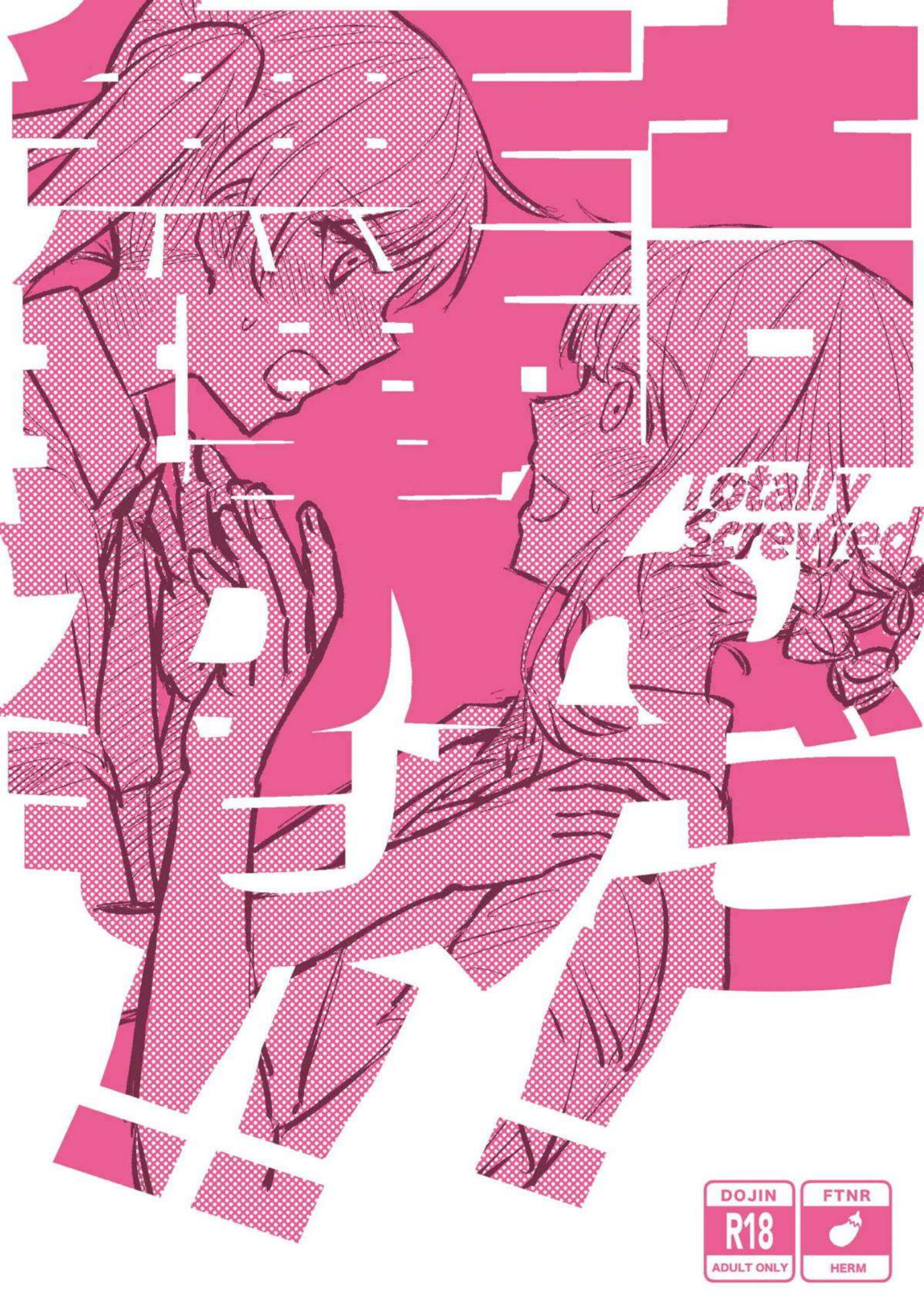




Totally Screwed

DOJIN

R18

ADULT ONLY

FTNR



HERM



Totally Screwed

DOJIN

R18

ADULT ONLY

FTNR



HERM

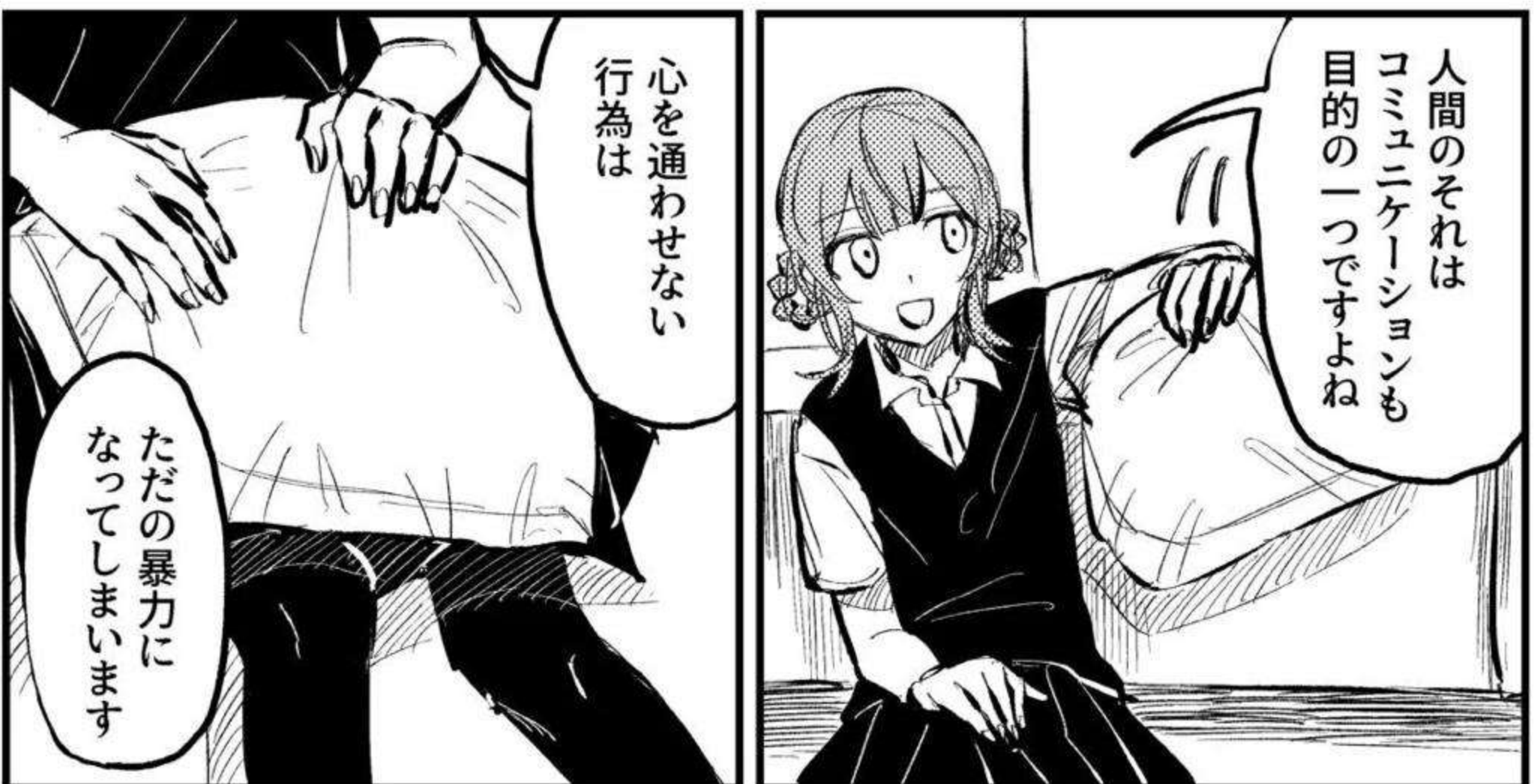
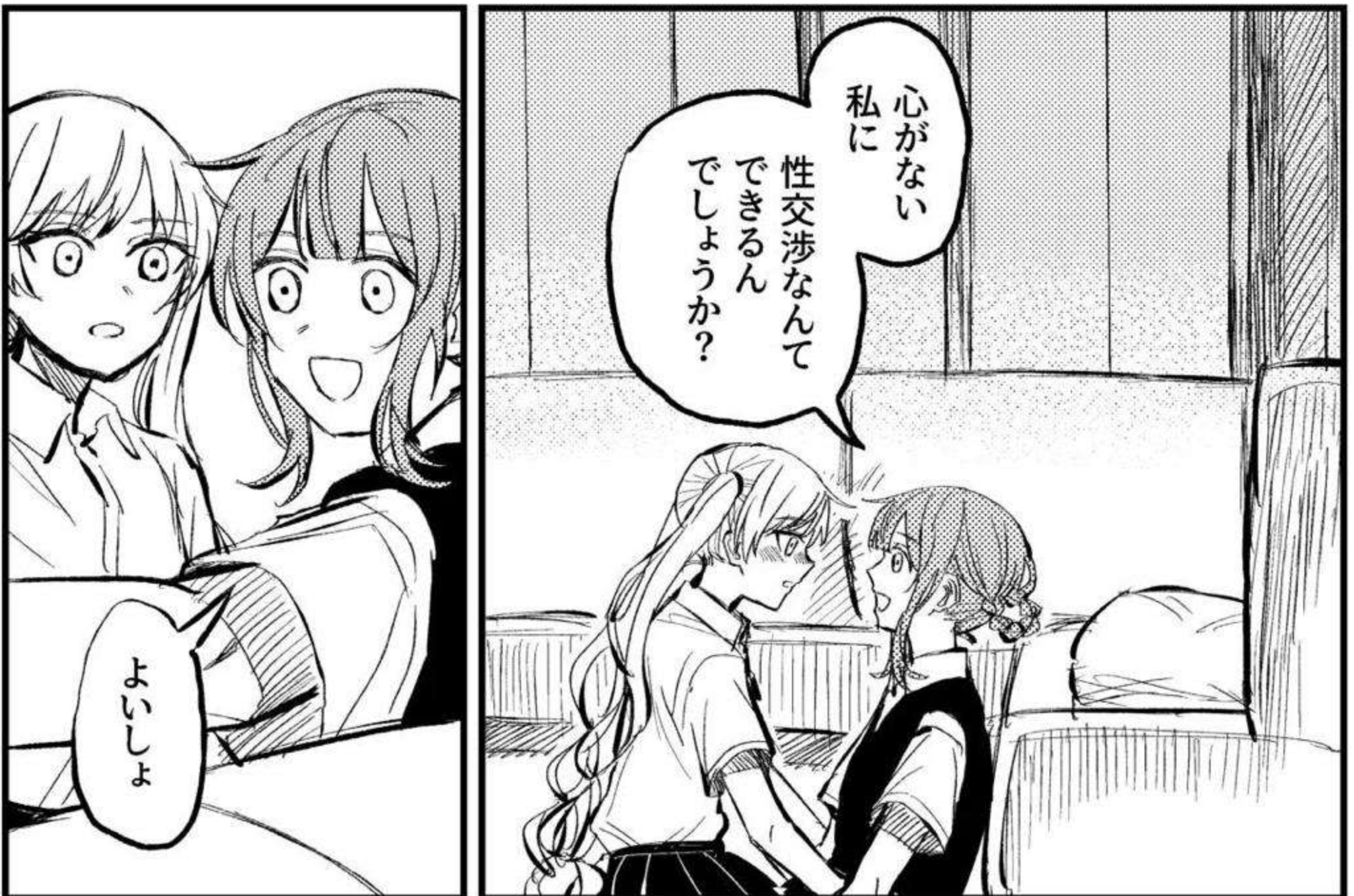




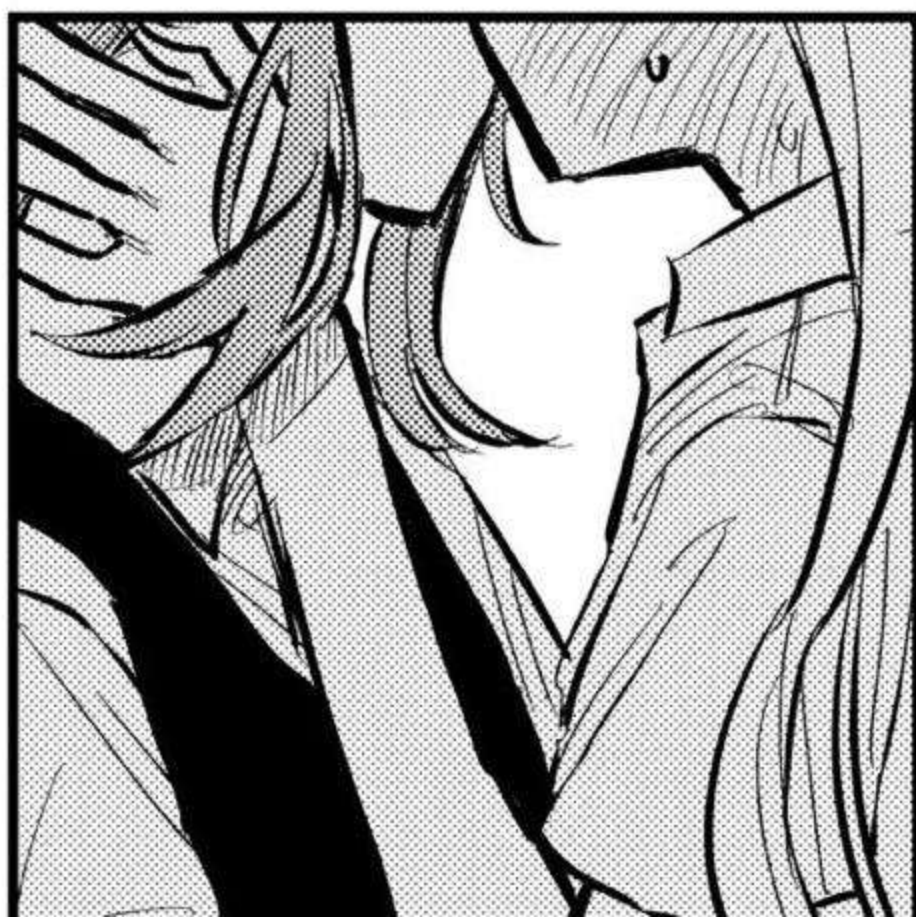














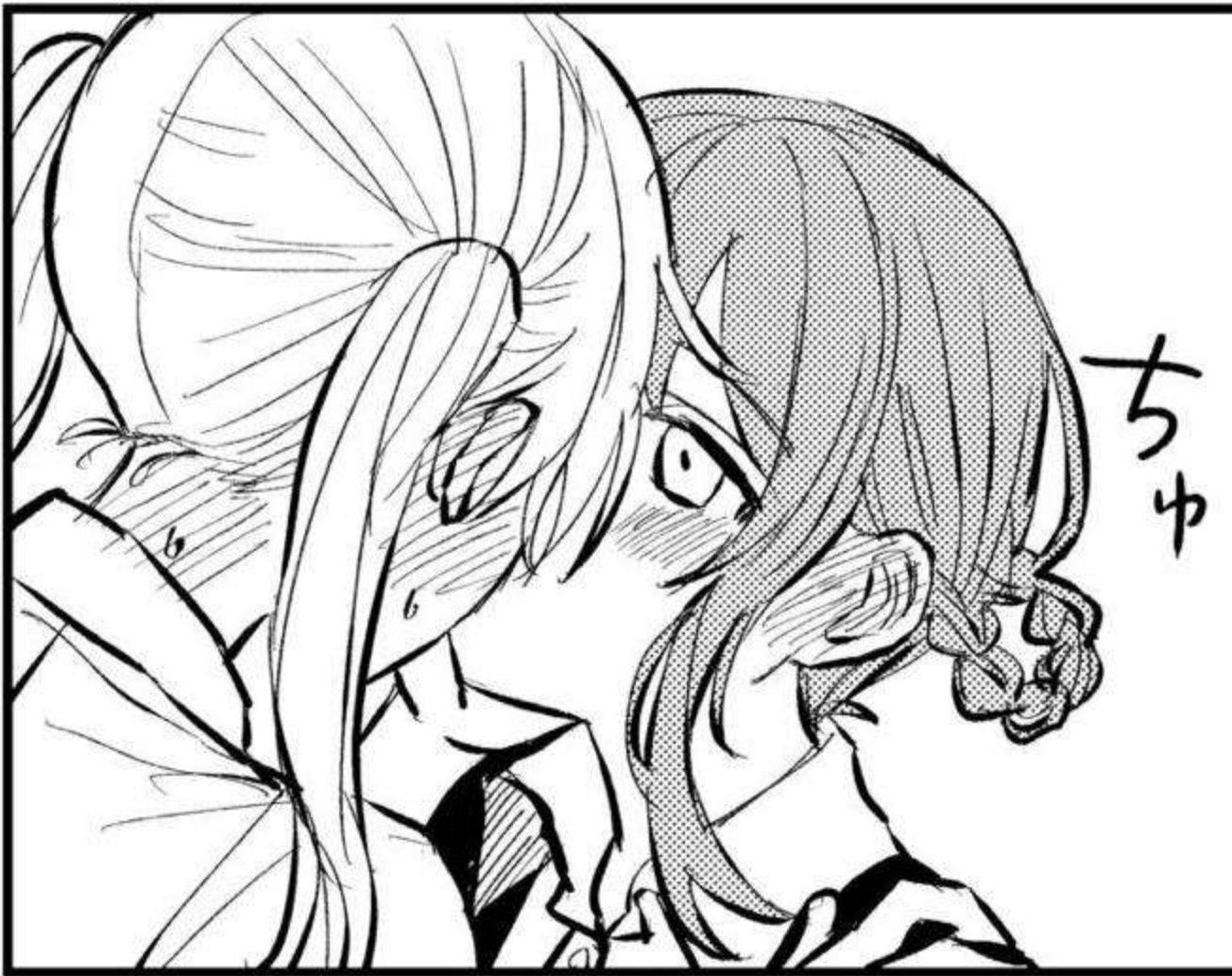


11









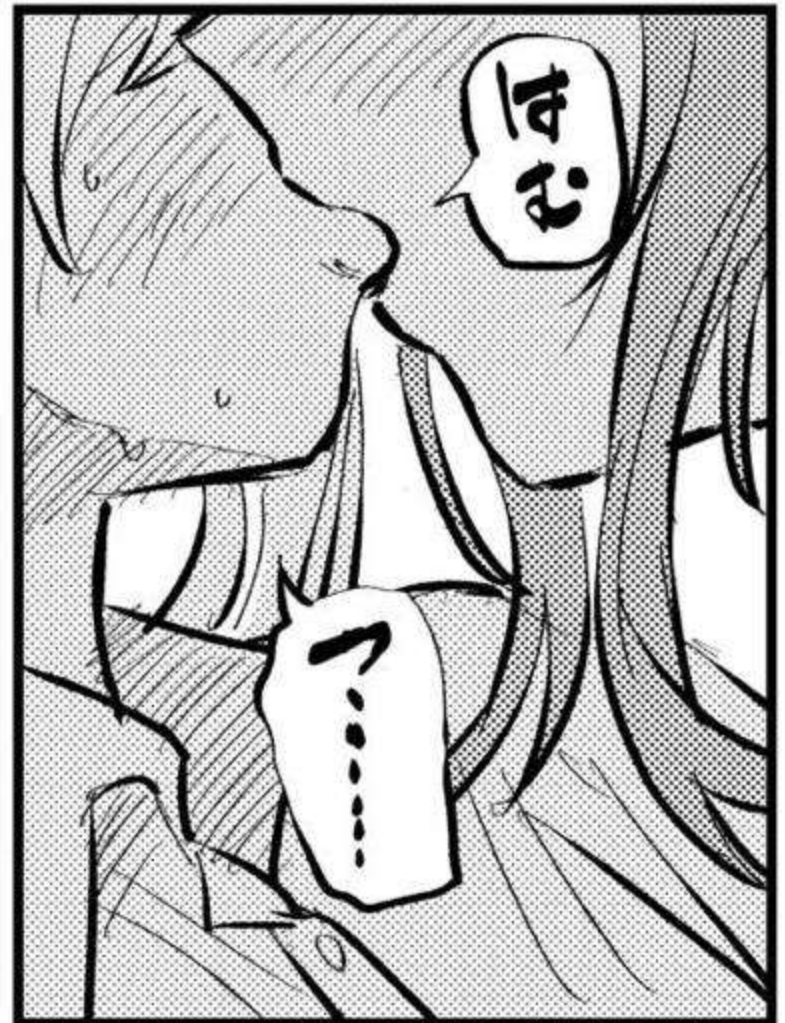




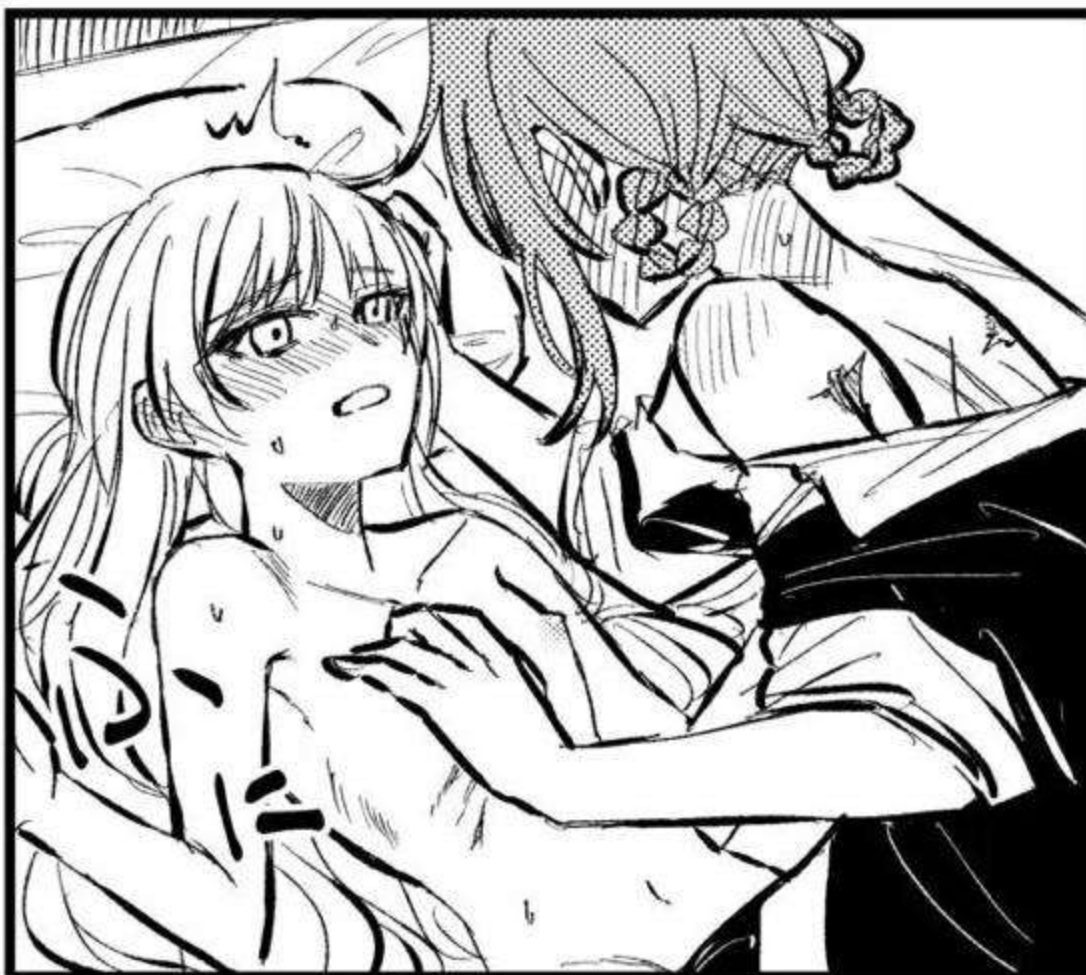










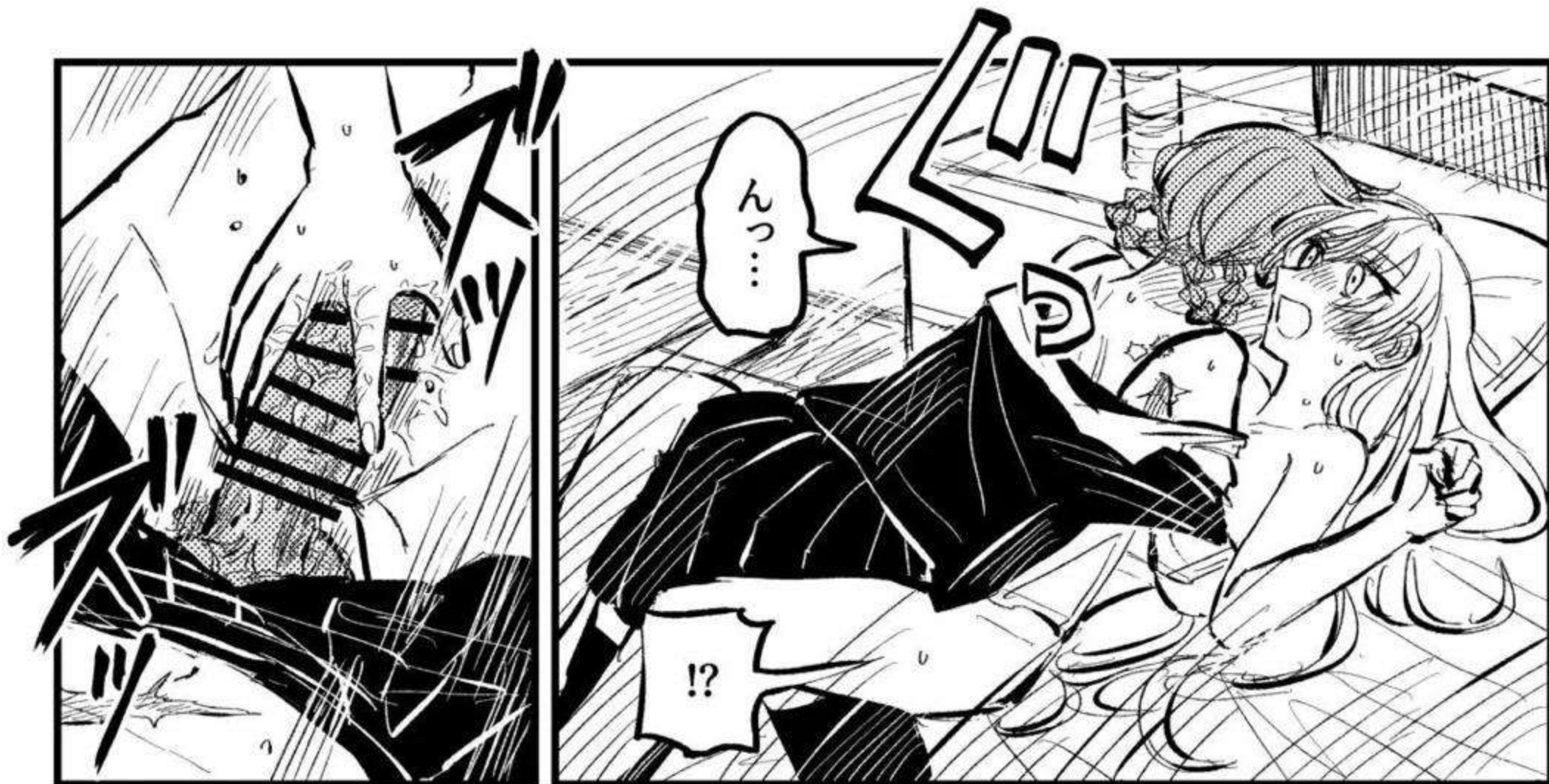














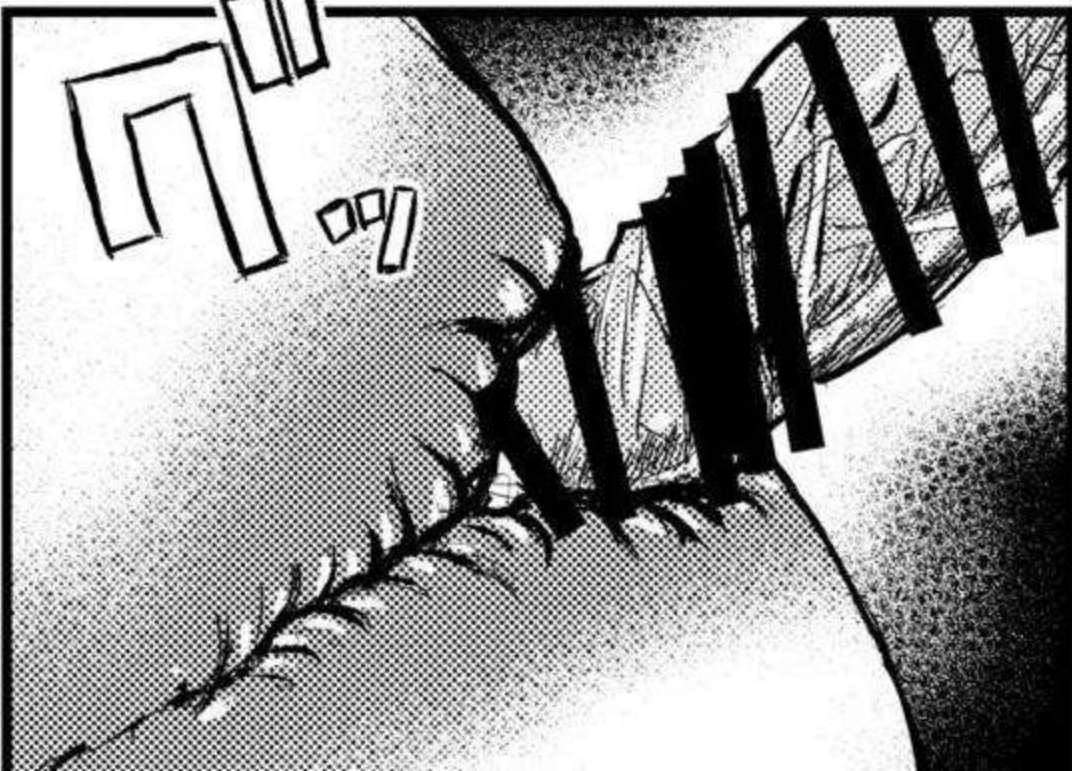


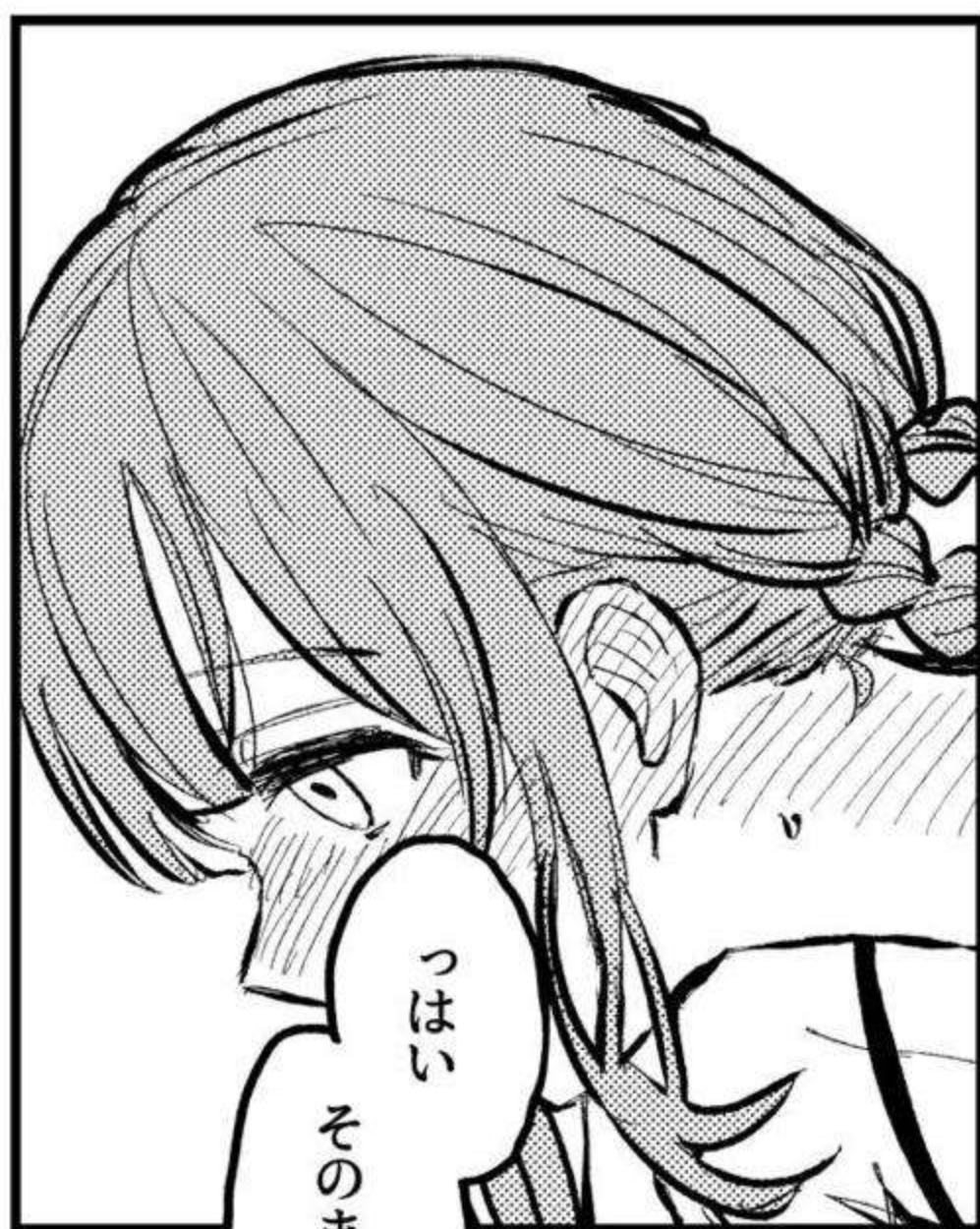


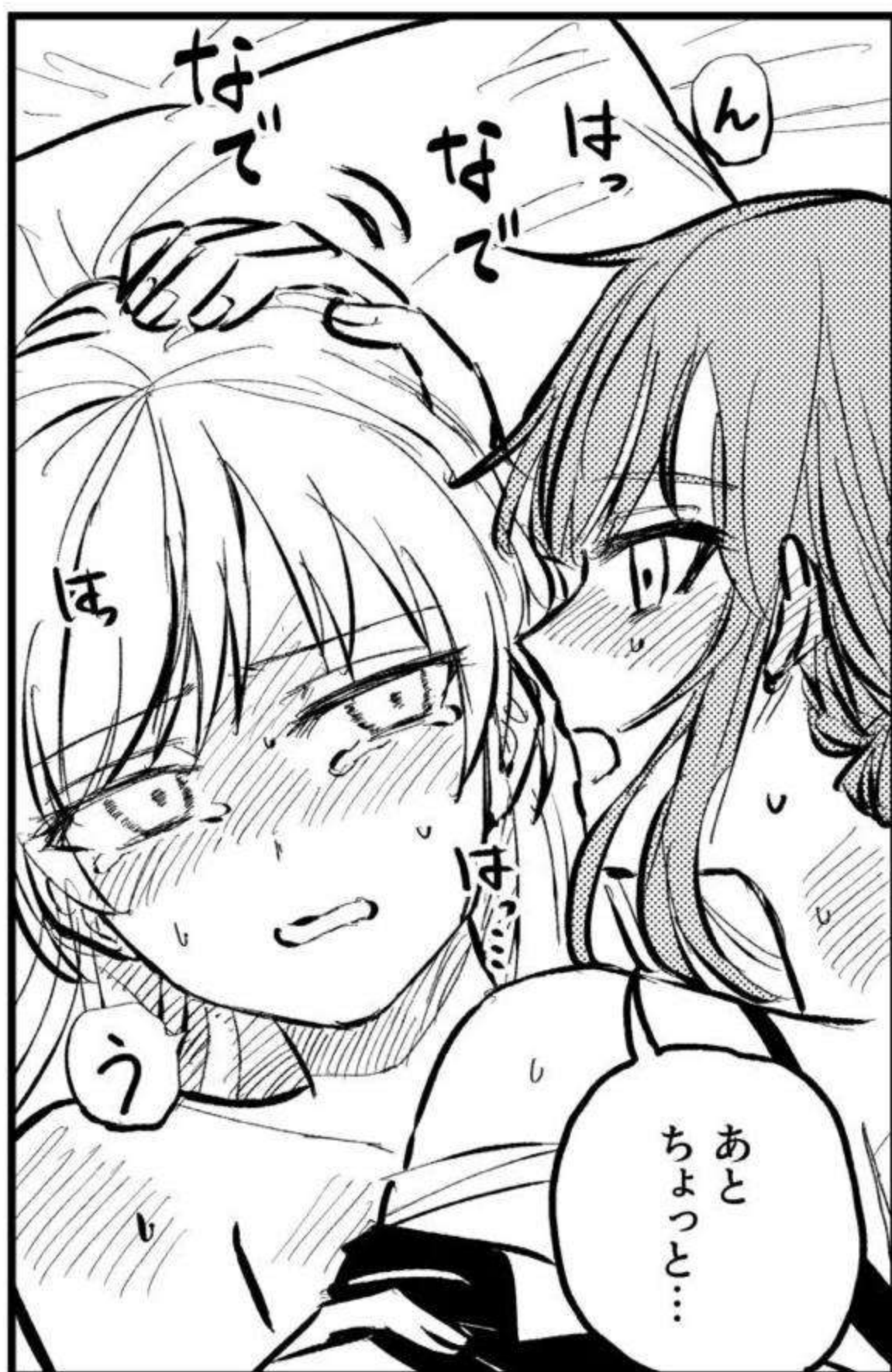








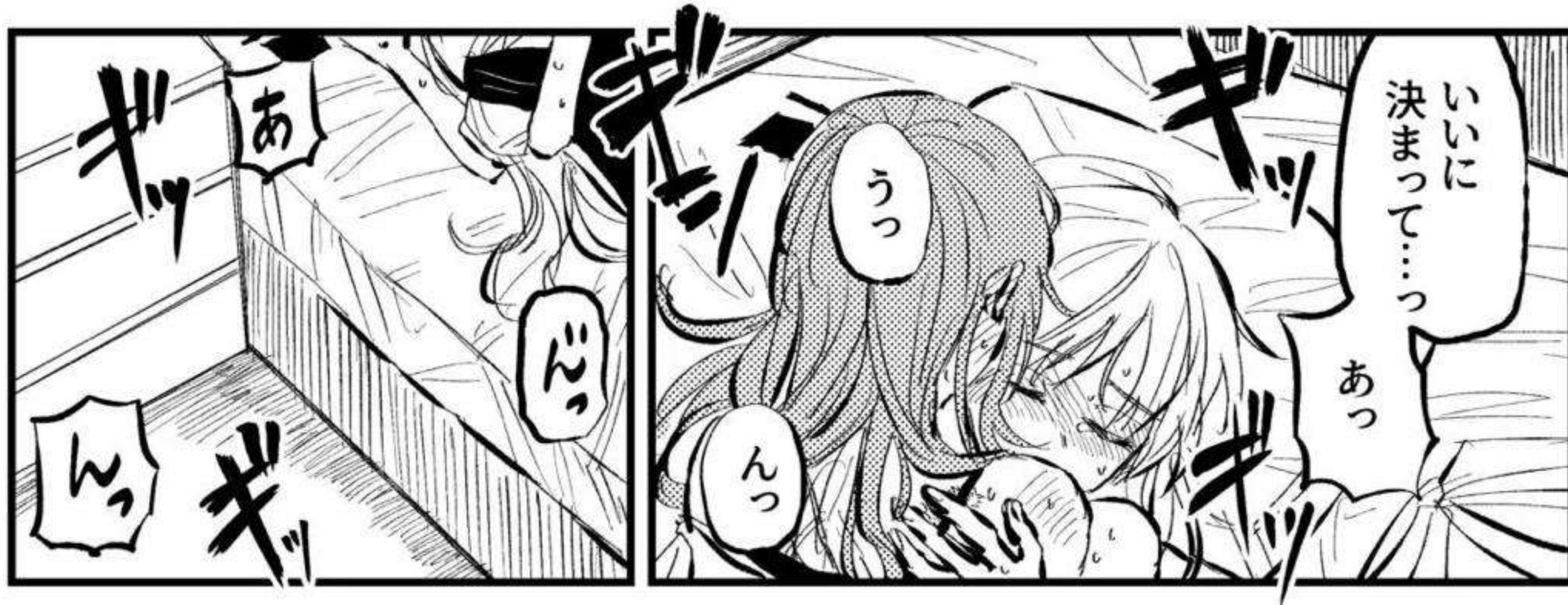












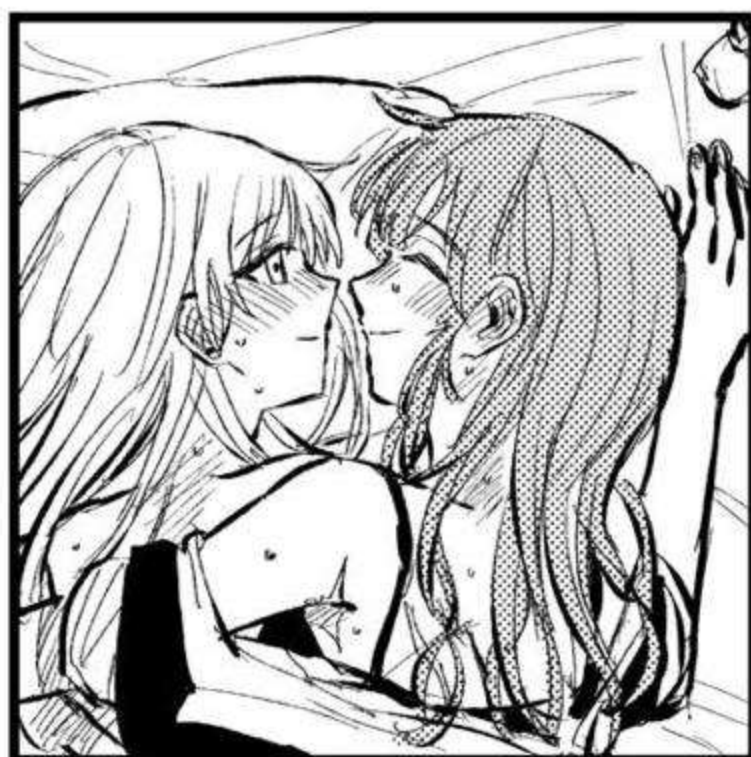












あとがき

本書をお手に取っていただき、ありがとうございます。Natchと申します。

まのさばにハマりすぎて、フリルなんて描いたこともないのにフリルだらけの囚人服を描きまくることになり、R18漫画も描いたことがないのにftnr漫画を出力することとなりました。恐ろしい話です。

シェリハンが好きすぎてこんな漫画を描いてしまいましたが、よくよく考えるとこの二人は恋愛感情を自覚するのに数年(特にシェリー)、くっつくまでに数年、本書のような状況になるまでにまた数年かかりそうな気もするので、これは解釈違いかも……でも、いちゃいちゃしているシェリハンは見たいかも……心が二つある……と思いながら描いていました。細かいことは気にしないでください。

タイトルや表紙のとおり、最初はずっとギャグっぽくするつもりだったのですが、気付けば後半はしっとりめになってしまいました。実際のトラウマやPTSDは一朝一夕でどうにかできるようなものではなく、人生単位で向き合いながら少しずつ変わっていくものだと思います。それでも、この二人ならこれからもなんとかやっていけるものと信じています。

また似たようなものを描く機会があれば、次はもっとシンプルにいちゃいちゃしてほしいと思っています……シェリハンに幸あれ……。

以上、ここまでお付き合いいただき、本当にありがとうございました。

自分が R18ftnr 漫画を描いて不特定多数の方々に頒布しているというヤバすぎる事実から酒の力で目を背けている筆者



シーツ等を
慌てて洗濯する
シェリハン

本書の設定での

登場人物



橘

シェリー



遠野
ハンナ



牢屋敷からの帰還直前、義父母に初めて我儘を言いハンナさんを養子に迎えてもらった。ハンナさんが大好きなあまり無意識のうちに四六時中べったりしている。そのため「シェリーさんに迷惑をかけないように」等の理由からわざわざ遠野姓で学校に通っているハンナさんの意図とは裏腹に、一緒に暮らしていることが学年中に知れ渡っている。

この漫画では先天的な両性具有者。魔法があった頃の癖が抜けず、ハンナさんに手は出さないし自分での処理も下手。下半身に異変を感じた際は、いつも推理小説を読んで収まるのを待っている。

性的欲求は希薄だが、自分の為に頑張るハンナさんを見るとすぐに爆発してしまう。幸せ慣れしてないため、精神的な豊かさを得るとびっくりしてフリーズする。

幼少期の経験から性的なことを酷いことや相手を傷付ける手段の一つだと認識しており自分に付いているものも嫌いだったが、ハンナさんに優しくしてもらい混乱しながらも認識が徐々に変わってきた。

上記の理由から自分からお誘いすることは殆どなく、初めのうちもおっかなびっくりな状態が続く。ある程度慣れてきても触り方がとても優しい。終わった後には水を取ってきて飲ませ、体を拭いてあげ、お腹をさすってくれる。ただしノンデリなのでピロートークの内容はトンネル効果とか蛇の脱皮とか離島の奇祭とかになる。ハンナさんはそれにツッコミを入れつつなんだかんだ話を聞いている。

牢屋敷からの帰還後、全寮制の学校に入った弟たちをはじめ、各々で自立している家族と離れて橘家の養子になった。初めのうちは橘家にある高機能家電や充実した食生活に驚きすぎて目を回していたが、家事炊事がなんでもできるので今では橘家の生活にめちゃくちゃ貢献している。

ちなみにシェリーさんは毎日ハンナさん作のお弁当を食べている(本人曰く3人分作るのも4人分作るのも大して変わりませんわとのこと)。とても健気。

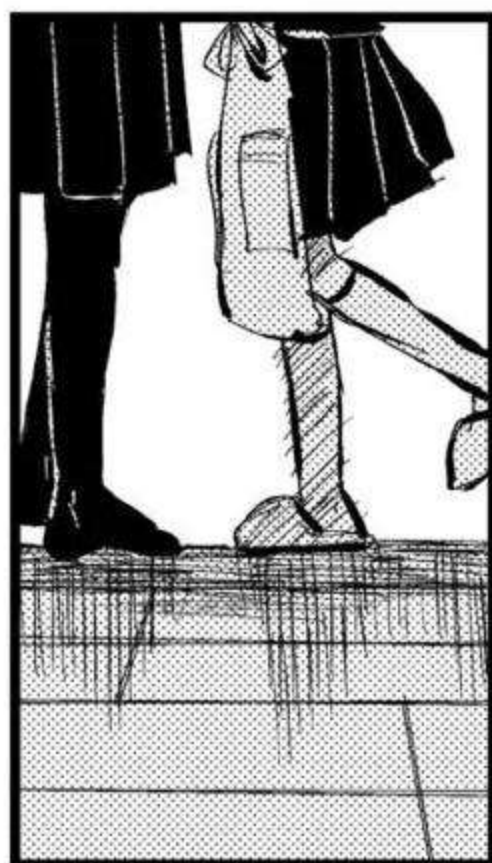
戸籍上は「橘ハンナ」だが、シェリーさんに迷惑がかからないようにと学校では公認で遠野姓で過ごしている。なお郵便物の宛名や飲食店の順番待ちとかでは普通に「橘」と書くし、電話に出る時は「はい、橘です」と言う。

政府からの補償金があってもなお、極貧時代に身に染み付いた質素儉約の生活スタイルを貫いているため、ごくたまに裁縫道具を欲しがったりすると義父母にめちゃくちゃ喜ばれる。幸せ慣れしてないため、物的な豊かさを得るとびっくりしてフリーズする。とても健気。遺伝のせいか性的欲求が強め。本人はこの性質を嫌っているものの、シェリーさんのそういったことに対するイメージを払拭したい(一緒に幸せになってほしい)思いがあるため、少女漫画やネットの知識を基に頑張っアプローチしたりリードしてあげようと努力している。

なお、最中にやめてほしい時のセーフワードは「殺人事件」に設定されており、咄嗟に言うには長すぎるし物騒だから変えてほしい気もするが、そもそもセーフワードを言う機会がないのでまあいいかと思っている。とても健気。











詰んだ！無理かも！！ *Totally Screwed*

初版発行 令和8年9月6日 異常値達ノ創造祭002

第2刷 令和8年9月12日

著者 Natch

発行 チームDZ

連絡先 Twitter @alqumama

Pixiv 3313931

elbowbender813@gmail.com

印刷 株式会社栄光

ご感想は
こちらまで！



本書は二次創作であり、原作および実在のものとは一切関係がありません。
無断転載(翻訳含む)、複製・複写、Web上へのアップロード、
オークション等への出品、AI学習を禁じます。
不要になったらダストシュートに入れるか発火の魔法で燃やして下さい。

Sherry X Hanna
Magical Girl Witch Trials
Unoffical Fanbook

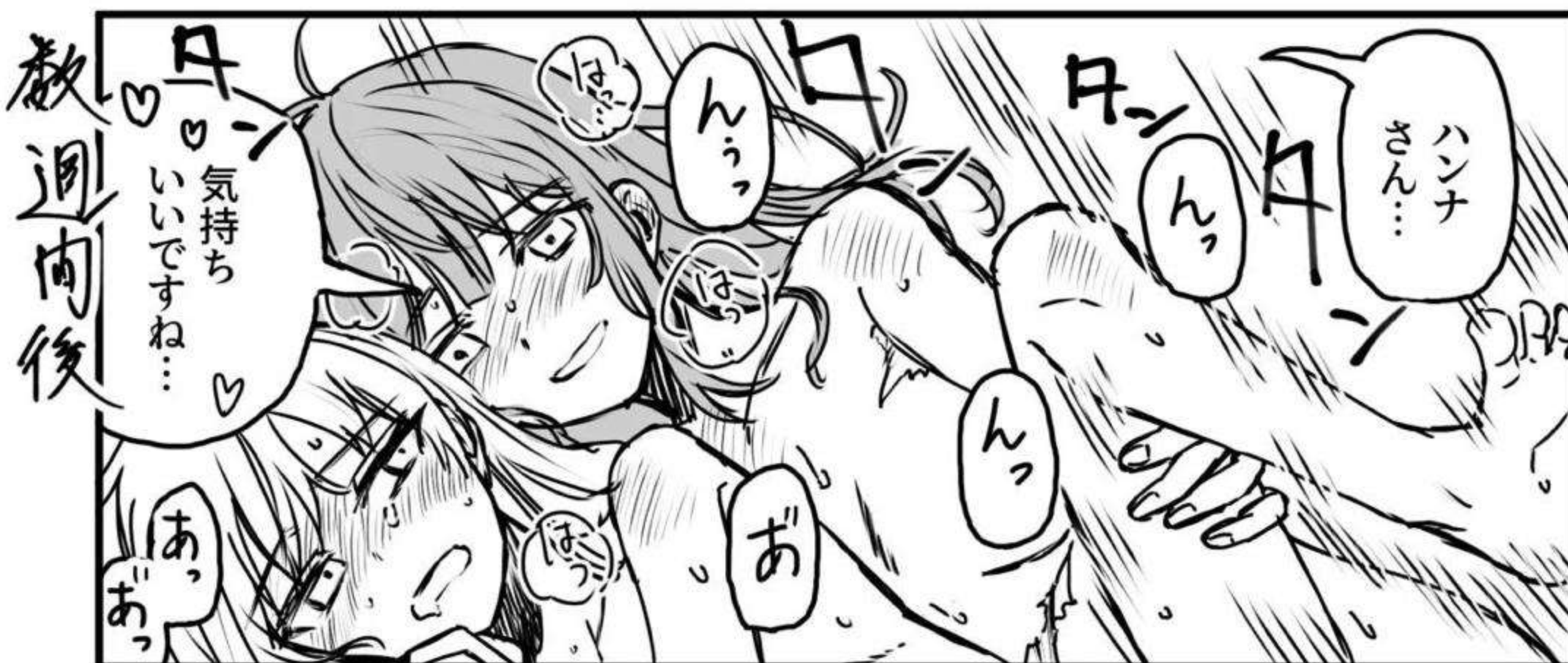
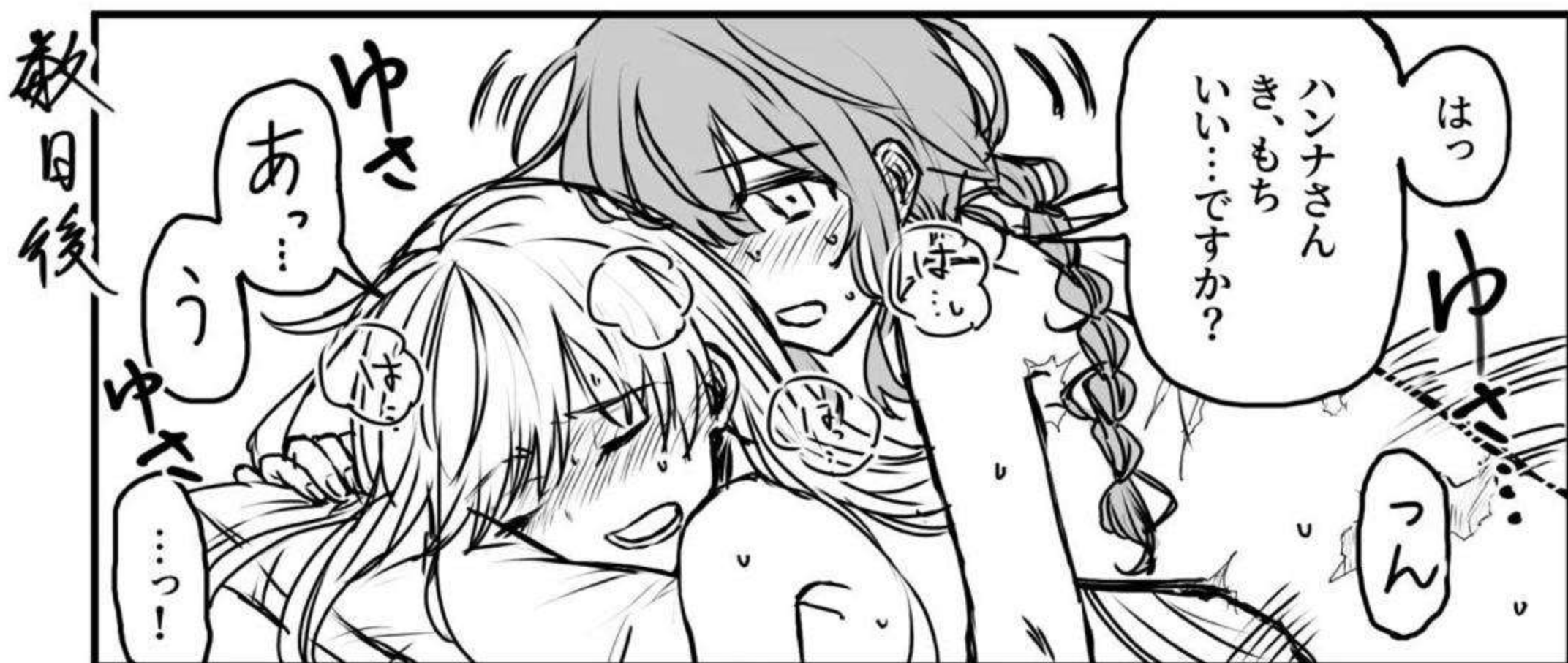
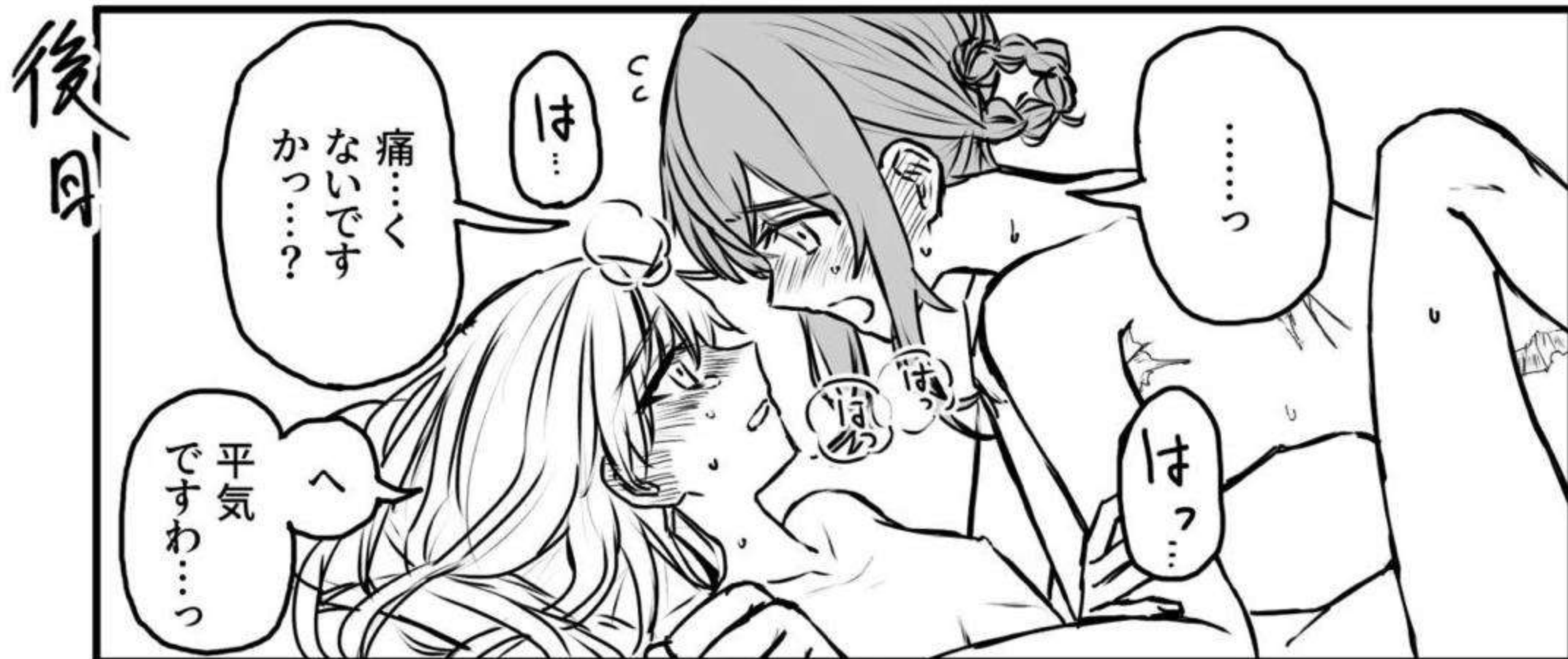




おまけ ① 本に入るタイミングがてはったシーン



おまけ ② 慣れの三段活用



シェリーさんの
手は大きい
ですわね

ハンナさんの
小さくて
可愛いすね！

ハ
ナ
ナ
ナ
ナ